

企画名：四季の香ローズガーデン拡張に伴うリニューアルオープン

企画団体名	現在までの取組内容や応募に至った背景
練馬区環境部みどり推進課	第10回「みどり香まちづくり」企画コンテストにおいて、におい・かおり環境協会賞を頂いた四季の香ローズガーデンでは、開園後5年目を迎え、見ごたえのある庭園へと成長しました。令和元年度には来園者数が約7万人を超えるなど、練馬区でも有数の観光スポットとして、バラの香りを皆様にお届けしてまいりました。 このたび、本施設を拡張し、新たなバラ園、ハーブ園を整備し、より魅力あふれる施設へと生まれ変わることから改めて応募させていただきました。

企画の紹介とその狙い

- 【目的】
「みどりの風吹くまちビジョンアクションプラン（平成30・31年度）（平成30年3月、練馬区）」に基づく「花の名所として区内外から多くの人が訪れるような魅力的で特徴ある公園整備」を進めるため、四季の香ローズガーデン（既設）と連続性を持ち、バラやハーブを楽しめる庭園として拡充することを目的としています。
- 【整備方針】
1 四季の香ローズガーデンと連続性を持った魅力的なテーマ
- ① 共通テーマ
- 公園名「四季の香公園」にちなんで
 - ・「四季を通じた見どころを提供するガーデン」
 - ・「香りを楽しむガーデン」
 - 住宅地の生活環境と一体となったガーデンとして
 - ・だれもが楽しめるバリアフリー、ユニバーサルデザインのガーデン
 - ・低農薬・無農薬で維持できるガーデン
 - ・見通しよく死角のない安全・安心なガーデン
- ② 個別テーマ
- 四季の香ローズガーデンのテーマ「香り（嗅覚）」と同様に「五感」の要素である「彩り（視覚）」と「手触り（触覚）」を楽しむことを新たなバラ園、ハーブ園の個別テーマとして設定する。
- 四季の香ローズガーデン（既設）：香りを楽しむ
強香バラ品種の分類展示と草花との混植を楽しむガーデン。草花との混植になじむシュラブ系品種主体とし、バラの香りと花色の性質に共通性があることによるパステルカラーの配植を魅力とする。
 - 色彩のローズガーデン（今回拡張）：彩りを楽しむ
「ピンク」、「ホワイト」等の色ごとに、バラと草花を合わせて植栽し、香りだけではなく、バラの色を楽しめるガーデンとする。
 - 香りのハーブガーデン（今回拡張）：触れて楽しむ
ハーブを香りの楽しみ方によって分け、ポプリ等に加工して楽しむ「ポプリハーブ」、お茶に用いる「ティーハーブ」、料理に用いる「キッチンハーブ」のグループごとに植栽する。
- 2 公園内外を行き交う区民に、通年的に花の香りや見どころを提供する庭園
- 【周囲の植栽地を四季の花修景に活用】
冬～早春：スイセン、シラー等の球根類、ロウバイ等の強香中低木を植えます。
春～夏：アジサイ等の多花性低灌木、メタセコイア並木の緑陰が楽しめます。
秋：メタセコイア並木の黄葉や、カシワバアジサイ等低灌木の紅葉が楽しめます。

企画実施のスケジュール																			
2020年									2021年										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
				整備工事															
指定管理者の選定																			
											開設準備								
													リニューアルオープン						

年	活動内容	規模・頻度
2020年4月～ 2021年4月	拡張整備工事	—
	指定管理者の選定	—
年	今後の展望	
2021年5月～	管理運営は、民間のノウハウを活かした魅力的な施設運営が行えるよう指定管理者制度を導入する予定です。 バラ園、ハーブ園を活かした魅力的な講座、イベントの実施やバラ等の管理作業にボランティアスタッフの導入などの地域連携など、賑わいの創出を期待しています。	

かおりの樹木・草花の選定理由や見頃

【バラの選定】 バラの品種選定において、耐病性への強さ、四季咲き性、香りの強さなど総合的にみてよい品種をバラ育種家のアドバイスを得ながら選定。	かおりの樹木・草花名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
【ハーブの選定】 花が見どころのハーブを多く導入することにより、春から秋にかけての修景的な魅力を高めたこと、また、ハーブの管理方法や植栽方法、利用について、他のハーブ園のスタッフより助言を受けてハーブの種類を選定。	バラ (約140品種、260株)												
	ハーブ (約150種、990株)												

四季の香 ローズガーデン

Hikarigaoka Shikinokaori Rose Garden

位置図



練馬区光が丘



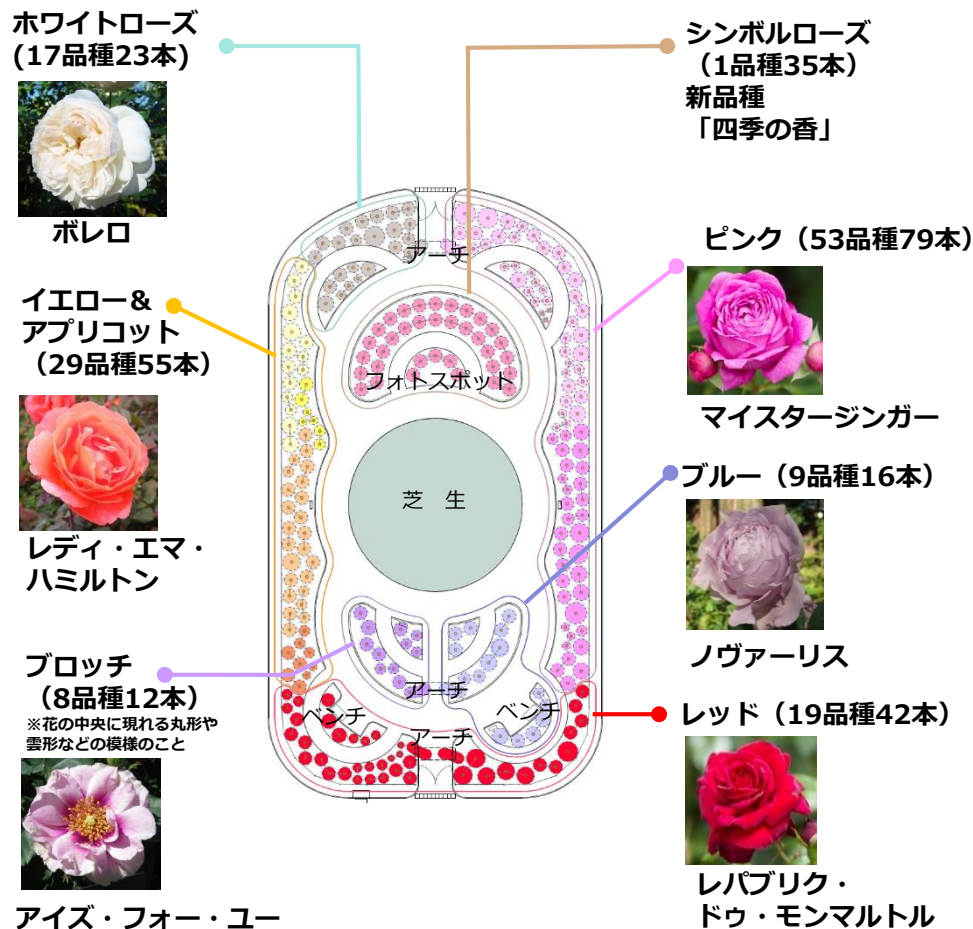
現況写真



色彩のローズガーデン (約1,080㎡ バラ約140品種、260株)

【バラの低農薬栽培への取り組み】
耐病性の強い品種選定により、団地に囲まれた都市型バラ園の使命として周辺環境に配慮した、人と自然に優しいバラ園の考え方をより一層進めます。

【維持管理の手間の軽減】
バラと宿根草の混植が大きな魅力ですが、灌水と除草に大変な労力がかかることが課題でした。
そこで新しいエリアでは、水圧を一から見直して自動灌水を設置、ガーデン内を細かく区分し土壌の乾燥具合により灌水の程度を変えられるよう工夫しました。また、修景的にもよくバラに悪影響を与えない地被類で地面を被覆することによって雑草の生育を抑制し、管理上の手間を軽減する工夫をしています。



香りのハーブガーデン (約770㎡ ハーブ約150種、990株)

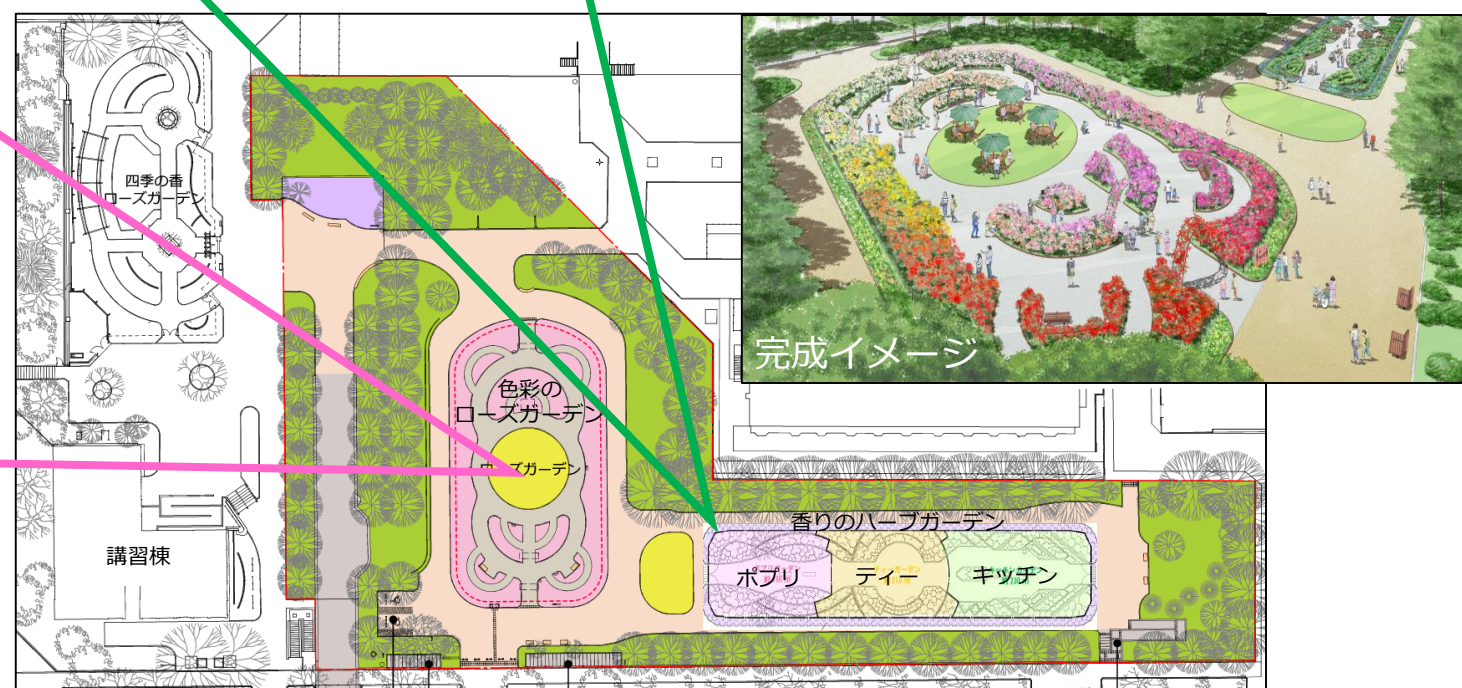
【修景的に魅せることのできるハーブガーデン】
土壌の乾燥・湿潤状態と土壌酸性度によりハーブを区分して植栽し、ベンチの傍にホップを植えて開花期にはホップに囲まれて香りを楽しむことのできるハーブベンチ等のアイデアを取り入れました。
また、同施設内講習棟において、本ハーブ園のハーブを活用した、ハーブティー講座やキッチンハーブ講座などでの活用をしていきます。

【ポプリガーデン：ハーブをポプリ等加工して香りを楽しむ】
香りを楽しむ セージ、ローズマリー、ラベンダー、キャットミントなど
手触りを楽しむ ラムズイヤーなど
花をブーケにする エキナセアなど
染料に用いる ダイヤーズカモミールなど

【キッチンガーデン：料理にハーブの香りをプラス】
葉を用いる ミント、オレガノ、タイム、セージ、レモングラスなど
花・葉を用いる チャイブ、アーティチョークなど
葉・葉柄を用いる ルバーブなど
全草を用いる キャラウェイ、フェンネルなど
果実を用いる ブルーベリー、ラズベリーなど

【ティーガーデン：ハーブティーにして香りを楽しむ】
葉をお茶に レモンバーム、オレガノ、ミント、タイムなど
花・葉をお茶に 食香バラ、ジャーマンカモミールなど
根をお茶に マーシュマロウなど

【外周植栽：様々な品種のラベンダーを植栽】
‘アボンビュー’ 春(4~5月)に咲き耐寒性・耐暑性強い‘インプレス・パープル’ 夏(7~8月)に開花する など



平面図